

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 18 日(2022.8.18)

【公開番号】特開 2020-171510(P2020-171510A)

【公開日】令和 2 年 10 月 22 日(2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2020-043

【出願番号】特願 2019-75248(P2019-75248)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 9 日(2022.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

第 1 演出と、前記第 1 演出よりも遊技者に認識し難い第 2 演出とを実行可能な演出実行手段を備え、

前記演出実行手段は、

前記第 1 演出を、第 1 段階および該第 1 段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第 2 段階を少なくとも含む複数種類の段階へと変化させることが可能であり、

前記第 2 演出を、第 1 段階および該第 1 段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第 2 段階および該第 2 段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第 3 段階を少なくとも含む複数種類の段階へと変化させることが可能であり、

30

前記第 1 演出が第 2 段階であるときに前記第 2 演出を第 3 段階まで変化させる割合よりも、前記第 1 演出が終了した後に前記第 2 演出を第 3 段階まで変化させる割合の方が高く、

前記演出実行手段は、

特定期間において前記第 1 演出を変化させることが可能であり、該特定期間中に所定期間が経過する前よりも該所定期間が経過した後の方が前記第 1 演出を変化させやすく、前記第 1 演出を変化させるときは前記第 2 演出を変化させるときよりも遊技者の認識度合いが高い態様で変化させる、遊技機。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

第 1 演出と、前記第 1 演出よりも遊技者に認識し難い第 2 演出とを実行可能な演出実行手段を備え、

前記演出実行手段は、

前記第 1 演出を、第 1 段階および該第 1 段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高

50

い第２段階を少なくとも含む複数種類の段階へと変化させることが可能であり、
前記第２演出を、第１段階および該第１段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第２段階および該第２段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第３段階を少なくとも含む複数種類の段階へと変化させることが可能であり、
前記第１演出が第２段階であるときに前記第２演出を第３段階まで変化させる割合よりも、前記第１演出が終了した後に前記第２演出を第３段階まで変化させる割合の方が高く、
前記演出実行手段は、
特定期間において前記第１演出を変化させることが可能であり、該特定期間中に所定期間が経過する前よりも該所定期間が経過した後の方が前記第１演出を変化させやすく、
前記第１演出を変化させるときは前記第２演出を変化させるときよりも遊技者の認識度合いが高い態様で変化させる。

10

(１) 遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態)に制御可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機１)であって、

第１演出(例えば、武具を身につける主演出)と、前記第１演出よりも遊技者に認識し難い第２演出(例えば、箱の色を変える副演出)とを実行可能な演出実行手段(例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０)を備え、

前記演出実行手段は、

前記第１演出を、第１段階(例えば、剣を持った主演出Ｂ)および該第１段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第２段階(例えば、剣と盾とを持った主演出Ｃ)を少なくとも含む複数種類の段階へと変化させることが可能であり、

20

前記第２演出を、第１段階(例えば、緑色の副演出Ｂ)および該第１段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第２段階(例えば、赤色の副演出Ｃ)および該第２段階よりも前記有利状態に制御される期待度の高い第３段階(例えば、金色の副演出Ｄ)を少なくとも含む複数種類の段階へと変化させることが可能であり、

前記第１演出が第２段階であるときに前記第２演出を第３段階まで変化させる割合よりも、前記第１演出が終了した後に前記第２演出を第３段階まで変化させる割合の方が高い(例えば、図８－６に示すように、主演出が主演出Ｃであるときに副演出を副演出Ｄまで変化させる割合よりも、主演出が終了した後に副演出を副演出Ｄまで変化させる割合の方が高い)。

30

40

50